

5

月は、【入力】の【機能】のうちショートカットについて勉強しました。
いかがでしたか？

『物足りないです。』や『このショートカットは知らなかったです』
など、様々なご意見を頂きました。ありがとうございます。

今

回は、ご要望が多かった【関数】を勉強したいところですが、前回の資料でお見
せしました、緑色の部分【テーブル】について勉強します。

これ、はっきり言ってめちゃくちゃ便利です。

CSV ってご存知でしょうか？ (comma-separated values)

近い将来、鯖などからとってきたデータが、CSV 形式からテーブル形式に変わるとうわさ
されています。

テ

ーブルとは??・・・

食卓のテーブルではありません。事務の机でもありません。

よく勘違いされますが、ピボットテーブルとも違います。

テーブルとは、IT用語辞典によると、

「卓、台、表などの意味を持つ英単語。一般の外来語としては洋風の脚の

長い大きな卓のことを指すが、IT の分野では要素を

縦横に碁盤目状に並べて整理した表の意味で使われることが多い。」

と書いてありました。

引用サイト <http://e-words.jp> より

テーブルは、【計算】の【機能】に分類されますが（諸説あり）、テーブルの中で関数を使うこ
ともできますし、そのまま出力としても使えます。（1行ごとの色つきはとても見やすいですね。）

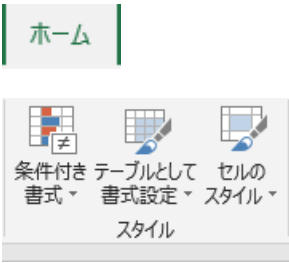
	機能	関数	マクロ
入力			
計算	テーブル	テーブル	
出力	テーブル		

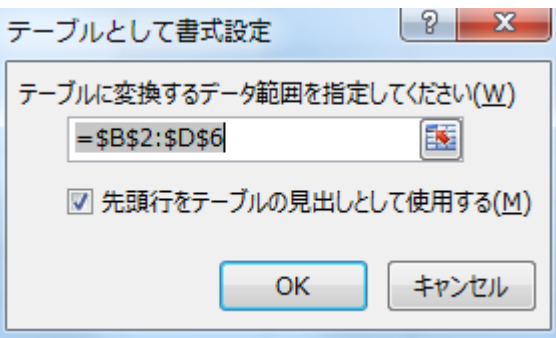
目 次

Lesson1. テーブルの使い方	3
(1) テーブルの設定方法 (その1)	3
(2) テーブルの解除方法	4
(3) テーブルの設定方法 (その2)	6
(4) 見出し行 (フィルターボタン)	7
(5) 見出し行 (フィルターとの違い)	7
(6) 見出し行 (表示場所)	8
(7) 縞模様 (行)	9
(8) 集計行	9
(9) 集計列	10
(10) 数式の自動拡張	11
(11) テーブル名	12

Lesson1. テーブルの使い方

(1) テーブルの設定方法 (その1)

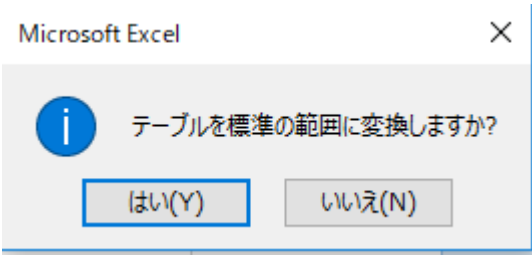
<p>元の表を準備します。</p> <p>シート名：テーブル練習</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td>氏名</td> <td>ヒット数</td> <td>打席数</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td>野間</td> <td>2</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td>菊池</td> <td>3</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td>X</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td></td> <td>鈴木</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		A	B	C	D	1					2		氏名	ヒット数	打席数	3		野間	2	5	4		菊池	3	5	5		X	3	4	6		鈴木	2	3	7				
	A	B	C	D																																					
1																																									
2		氏名	ヒット数	打席数																																					
3		野間	2	5																																					
4		菊池	3	5																																					
5		X	3	4																																					
6		鈴木	2	3																																					
7																																									
<p>テーブルにしたい範囲内の任意のセルをクリックし、(全体を選択しておく必要はありません。)</p> <p>【ホーム】タブ → テーブルとして書式設定</p>																																									
<p>任意のデザインを選びクリック</p> <p>(ここでは、オレンジ、テーブルスタイル (中間) 10 を選びました。)</p>																																									

範囲を確認し、 OK																																									
完成です。	<table border="1" data-bbox="646 660 1316 1064"> <thead> <tr> <th></th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td>氏名 ▼</td> <td>ヒット数 ▼</td> <td>打席数 ▼</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td>野間</td> <td>2</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td>菊池</td> <td>3</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td>X</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td></td> <td>鈴木</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2行×2行以上のデータは、テーブルにしておくことをお勧めします。)</p>		A	B	C	D	1					2		氏名 ▼	ヒット数 ▼	打席数 ▼	3		野間	2	5	4		菊池	3	5	5		X	3	4	6		鈴木	2	3	7				
	A	B	C	D																																					
1																																									
2		氏名 ▼	ヒット数 ▼	打席数 ▼																																					
3		野間	2	5																																					
4		菊池	3	5																																					
5		X	3	4																																					
6		鈴木	2	3																																					
7																																									

(2) テーブルの解除方法

テーブル内を選択し、 (ここでも全体を選択する必要はなく任意のセルで構いません。)	<table border="1" data-bbox="539 1232 1212 1635"> <thead> <tr> <th></th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td>氏名 ▼</td> <td>ヒット数 ▼</td> <td>打席数 ▼</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td>野間</td> <td>2</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td>菊池</td> <td>3</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td>X</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td></td> <td>鈴木</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		A	B	C	D	1					2		氏名 ▼	ヒット数 ▼	打席数 ▼	3		野間	2	5	4		菊池	3	5	5		X	3	4	6		鈴木	2	3	7				
	A	B	C	D																																					
1																																									
2		氏名 ▼	ヒット数 ▼	打席数 ▼																																					
3		野間	2	5																																					
4		菊池	3	5																																					
5		X	3	4																																					
6		鈴木	2	3																																					
7																																									
【デザイン】タブ → クリア																																									

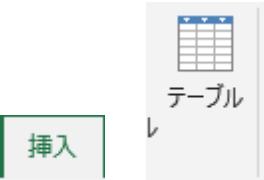
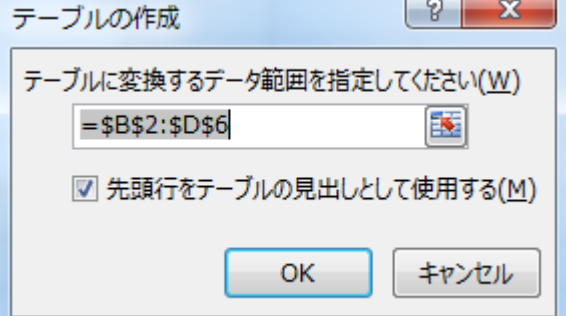
	 <p>(拡大図)</p> 																																								
<p>色が消えます。 (テーブルの機能はまだ解除されていません。)</p>	<table border="1" data-bbox="539 1099 1220 1489"> <thead> <tr> <th></th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td>氏名 ▼</td> <td>ヒット数 ▼</td> <td>打席数 ▼</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td>野間</td> <td>2</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td>菊池</td> <td>3</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td>X</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td></td> <td>鈴木</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		A	B	C	D	1					2		氏名 ▼	ヒット数 ▼	打席数 ▼	3		野間	2	5	4		菊池	3	5	5		X	3	4	6		鈴木	2	3	7				
	A	B	C	D																																					
1																																									
2		氏名 ▼	ヒット数 ▼	打席数 ▼																																					
3		野間	2	5																																					
4		菊池	3	5																																					
5		X	3	4																																					
6		鈴木	2	3																																					
7																																									
<p>つづいて、 【デザイン】タブ → 範囲に変換</p>																																									

<p>はい (Y)</p> <p>をクリック</p>																																									
<p>テーブル解除の完了です。</p>	<table border="1" data-bbox="539 564 1225 967"> <thead> <tr> <th></th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td>氏名</td> <td>ヒット数</td> <td>打席数</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td>野間</td> <td>2</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td>菊池</td> <td>3</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td>X</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td></td> <td>鈴木</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		A	B	C	D	1					2		氏名	ヒット数	打席数	3		野間	2	5	4		菊池	3	5	5		X	3	4	6		鈴木	2	3	7				
	A	B	C	D																																					
1																																									
2		氏名	ヒット数	打席数																																					
3		野間	2	5																																					
4		菊池	3	5																																					
5		X	3	4																																					
6		鈴木	2	3																																					
7																																									
<p>先に「範囲に変換」をすると、色は残ったままになります。 その後、色を消しても同じです。</p>																																									

(3) テーブルの設定方法 (その2)

テーブルにしたい範囲内の任意のセルを選択します。

(全体を選択しておく必要はありません。)

<p>【挿入】タブ → テーブル</p>	
<p>範囲を確認し、 「先頭行をテーブルの見出しとして使用する」 にチェックが入っていることを確認し、</p> <p>OK</p>	

完成です。

	A	B	C	D
1				
2		氏名 ▼	ヒット数 ▼	打席数 ▼
3		野間	2	5
4		菊池	3	5
5		X	3	4
6		鈴木	2	3
7				

この方法でのデザインの変更は、設定後に行うことができます。

テーブルスタイル
オレンジ, テーブルスタイル (中間) 10

(4) 見出し行 (フィルターボタン)

すべてのテーブルの列でフィルター処理が有効になっているので、テーブルのデータのフィルター処理または並べ替えをすばやく行うことができます。

	A	B	C	D
1				
2		氏名 ▼	ヒット数 ▼	打席数 ▼
3		野間	2	5
4		菊池	3	5
5		X	3	4
6		鈴木	2	3
7				

(5) 見出し行 (フィルターとの違い)

よく似た機能に『フィルター』がありますが、違いがあります。
 テーブルは1つのシートに複数配置が可能ですが、フィルターは、1つのシートに1コだけしか使えません。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2		氏名 ▼	ヒット数 ▼	打席数 ▼		氏名 ▼	ヒット数 ▼	打席数 ▼
3		野間		2	5	野間	2	5
4		菊池		3	5	菊池	3	5
5		X		3	4	X	3	4
6		鈴木		2	3	鈴木	2	3
7								

(6) 見出し行 (表示場所)

見出し行が列番号に表示されます		A	氏名 ▼	ヒット数 ▼	打席数 ▼	
	4		菊池		3	5
	5		X		3	4
	6		鈴木		2	3
	7					

ワークシート画面を下にスクロールすれば体感できます。		A	B	C	D	
	1					
	2		氏名 ▼	ヒット数 ▼	打席数 ▼	
	3		野間		2	5
	4		菊池		3	5
	5		X		3	4
	6		鈴木		2	3
	7					

画面がスクロールされてテーブルの見出し行が隠れると、それまで[A][B][C]…と表示されていた列番号に、テーブルの見出し行が表示されます。一画面に収まらない広大なデータを操作するとき、今まではタイトル行が隠れないようにウィンドウ枠を固定したり、ワークシートを分割したりする工夫が必要でした。でも、データをテーブルに変換しておけば、そうした手間は必要ありません。

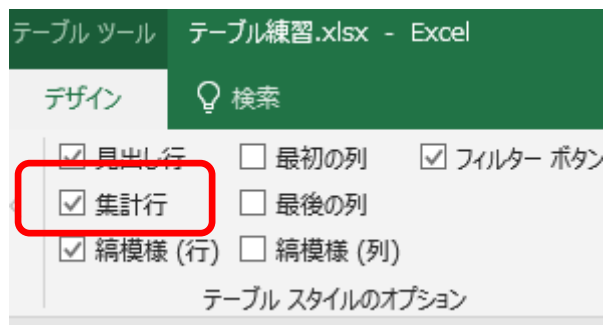
(7) 縞模様 (行)

既定では、データを区別しやすくするためにテーブル内の行に網掛けまたは縞模様が交互に適用されています。

	A	B	C	D
1				
2		氏名	ヒット数	打席数
3		野間	2	5
4		菊池	3	5
5		X	3	4
6		鈴木	2	3
7				

(8) 集計行

[集計] 行を追加することにより、合計や平均などを計算することができます。



	A	B	C	D
1				
2		氏名	ヒット数	打席数
3		野間	2	5
4		菊池	3	5
5		X	3	4
6		鈴木	2	3
7		集計		17

(9) 集計列

テーブル列の、1つのセルに式を入力することで、そのテーブルの列内の他のすべてのセルに式を直ちに適用する集計列を作成できます。

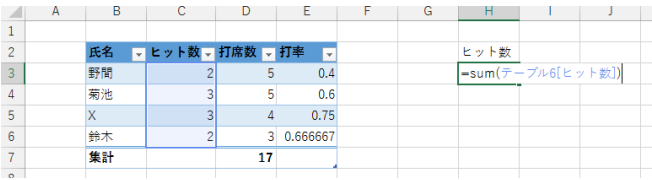
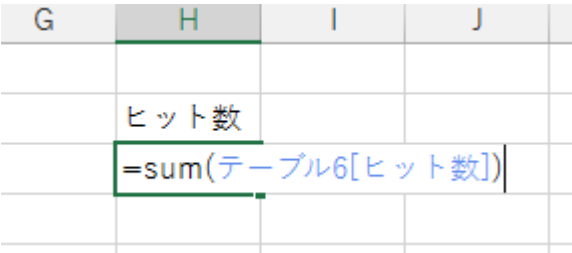
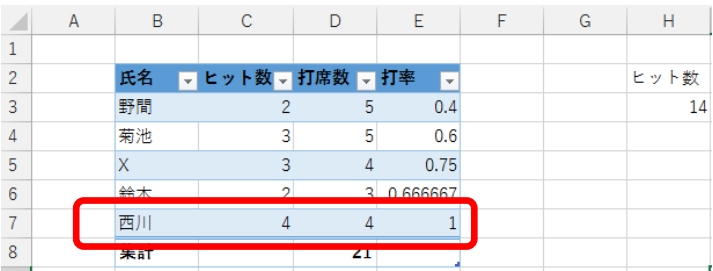
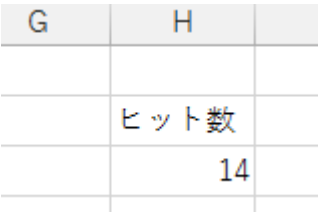
	A	B	C	D	E
1					
2		氏名	ヒット数	打席数	打率
3		野間	2	5	
4		菊池	3	5	
5		X	3	4	
6		鈴木	2	3	
7		集計		17	
8					

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2		氏名	ヒット数	打席数	打率		
3		野間	2	5	=[@ヒット数]/[@打席数]		
4		菊池	3	5			
5		X	3	4			
6		鈴木	2	3			
7		集計		17			
8							

	A	B	C	D	E
1					
2		氏名	ヒット数	打席数	打率
3		野間	2	5	0.4
4		菊池	3	5	0.6
5		X	3	4	0.75
6		鈴木	2	3	0.666667
7		集計		17	
8					

(10) 数式の自動拡張

これが、最大のメリットです。数式の自動拡張です。

<p>テーブル以外のセルに、数式を入れました。ヒット数の合計です。</p> <p>ここで、テーブルのデータが増えた場合にどうなるか想像してみてください。</p>	
	<p>(拡大図)</p> 
<p>実は、その名の通り、自動で拡張してくれるのです。</p> <p>(7行目にデータを追加すると・・・)</p>	
	<p>(拡大図)</p> 

(11) テーブル名

<p>テーブルには自動で名前が付きます。 この例では、 テーブル6</p>	
<p>もちろん、変更することができます。 【デザイン】タブ 【テーブル名】</p>	 <p>拡大図</p> 
<p>数式も変わっています。</p>	 <p>(拡大図)</p> 